

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みらい教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 15日		2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 11月 3日		2025年 11月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を実施している点で、お子さんの特性に合わせた指導内容を適宜設定できます。またご利用とのコミュニケーションについても密に行えるため、状況把握やその場での対応を迅速かつ密に行える事は強みと思われ、ご家庭への報告や相談においても詳しく行っています。	お子様の特性や性格に合わせて活動スペースを分けるなどの環境設定をしています。一人一人の好みに合わせた活動を提供できる様に工夫した対応を行っています。お子さんとコミュニケーションを取る時間を大切にしており、いつもと違う様子等があればすぐに対応できるようにしています。	定期的な社内研修の実施を継続したり、外部研修への参加を促すなど職員のスキルアップを図る事でより質の高い支援を提供し、ご家庭や児童の満足度向上を目指します。また、職員会議の場でお子様の様子を密に共有することで全体で共通認識を持ってより質の高い支援を提供します。
2	支援プログラムが固定されず、お子さんに合わせて柔軟に対応ができています。	毎時、お子様の状況に合わせて職員間で支援プログラムを個別に検討し、提供出来る環境で支援を行っている為、プログラムが固定化されません。	引き続きご利用者やご家庭のニーズに合わせて、ご利用者に必要な支援を柔軟に検討し提供を続けていきます。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	入口に段差があり、肢体に不自由があった場合に移動が困難になる可能性があります。	ご利用者の方で肢体に不自由を抱えている方がおられず、抜本的に解決を行う為には環境設備を工事等で改善する必要があります。	今後バリアフリーが必要なお子様が通所される際は、簡易的なスロープを準備する等段差を無くし坂を作る事で負担を軽減した環境整備を行います。
2	父母の会の活動・ペアレントトレーニングなどが実施出来ない点や、訓練や行事等の活動内容をご家庭へ届く形で発信が出来ていません。	HPIはありますが更新頻度が低く、会報、SNSでの発信等の媒体の準備が整っていません。	ご家庭のニーズに合わせて活動の実施を検討し、SNSの媒体、もしくは会報などの紙媒体での準備を整え、定期的な発信を検討していきます。
3	全てのご家庭に対してレスパイト等のニーズに応えることが難しい事があります。	利用時間が他事業所に比べて短い時間でしか提供が難しいことと、個別支援なので急遽の対応ができる職員の確保が難しく、全家庭のレスパイト等のニーズに応えにくい環境があります。	他事業所との連携を強化し、ご家庭のレスパイト等のニーズに対してはスムーズに別事業所をご案内する等の工夫を行い、ご家庭が困らない様に対応できる状況を作っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス みらい教室

公表日 2026年 1月 28日

利用児童数 1

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		今後もスペースの確保を継続しながらお客様の特性に合わせて調整して参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		今後ともご利用者様にとってより良いサービス提供をするために充足した職員配置を心がけて参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		今後ともご利用者の皆様が快適に来所いただけるよう、バリアフリー化に努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		日々の清掃・消毒を徹底し、ご利用者の皆様が快適に過ごせる空間を提供していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		各お子さんの特性に応じ、専門的な視点から個々に寄り添った支援を提供して参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		ホームページにて支援プログラムを公表しております。プログラムに基いた支援を提供していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		今後も各ご家庭の困り事に寄り添い、職員一同連携して支援を行い、質の高い計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		各お子さんとご家庭の状況を分析し、共有を行いながらその時に必要な支援について具体的に設定していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		個別支援の中で日々のお子さんの様子を共有・把握しながらより良い支援が提供できるよう努めて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		今後もお子さんや保護者の方の意見を聞きながらプログラムの構成・調節を行い、日々の状況に合わせた活動を実施して参ります。また、活動プログラムがより保護者の方に伝わるように工夫して参ります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	0		今後保護者の方から新たにニーズが聞かれましたら、その都度機会を提供して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		今後もすべてのご利用者様のご意向に共感と寄り添いの姿勢を持ち、丁寧な説明を心がけていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		今後も安心感をもって利用してもらえるように支援内容について丁寧に説明して参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	0	1		現状ご利用いただいている保護者様同士の交流の場はございませんが、今後は必要に応じてきょうだい同士の交流支援と共にサービス向上を目指して参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0		今後もすべてのご利用者様に寄り添い、日ごろから丁寧にやり取りを進めて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		今後も保護者の皆様に寄り添い、適切な対応を取っていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		今後も共感の姿勢を忘れずに支援して参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	1		保護者の皆様のニーズに合わせて柔軟に対応して参ります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0	今後もお子様・保護者様に安心してご利用いただける施設であり続けられるようにご意見を尊重し、より良いサービス提供に尽力して参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0	今後もすべてのご利用者様に寄り添った情報伝達を行うよう尽力して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	1	現在は施設からご家庭への情報発信がホームページのみとなっておりますが、今後はより親しみやすい施設になるよう、情報発信の仕方を考えて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0	今後も個人情報が外部に漏れることがないように、最大限配慮しながら現在行っている対策を徹底して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0	今後も職員間でマニュアルの周知徹底を行い、保護者の方にもご要望に応じて周知をしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	0	1	災害発生時の対応について、職員の役割やお子さんの特性を確認しつつ様々な状況を想定した避難訓練を実施いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	今後も安全計画を周知し、お子さんの特性や様々な状況を考慮してお子さんの安全が確保された上で支援を行って参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0	お子さんが安全に過ごせるように配慮を行い、万一事故等が発生した場合にはすみやかに連絡を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0	日々お子様が安心感を持って過ごしていただけるよう、今後も環境を整えて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0	より多くのお子様楽しく通所していただけるよう、お子様のご意見の尊重、サービス向上に尽力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0	すべてのご利用者様にご満足いただけるよう、適宜ご意向・ご意見の確認等を行いながら支援の向上に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス みらい教室		公表日		2026年 1月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	パーテーションや机などの配置を工夫し、スペースを確保している。またお子さんの特性に合った安心できるスペースを提供している。	今後もスペースの確保を継続しながらお子様の特性に合わせて調整して参ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	お子さん一名に対し、職員一名での関わりが可能になるように職員を配置している。	今後ともご利用者様にとってより良いサービス提供をするために充足した職員配置を心がけて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	玄関の内側、外側に一段ずつ段差が設置されているが、現時点で不都合は生じていない。	今後ともご利用者の皆様が快適に来所いただけるよう、バリアフリー化に努めて参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	出勤時と退勤前に清掃を実施している。また指導前後にも確認と消毒を行い、清潔の保持に努めている。	日々の清掃・消毒を徹底し、ご利用者の皆様が快適に過ごせる空間を提供していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	特性上配慮が必要なお子さんは、一部屋を個別で使用できるよう努めている。	今後もお子さんの様子に合わせて臨機応変に環境を提供できるよう努めて参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	業務改善への意見は随時抽出を行い、また活発に参加できる職員同士の関係性を作るよう努めている。PDCAサイクルの質を向上できるように、会議時以外にも随時意見を抽出している。	PDCAサイクルの流れを確立して取り組み、職員全体で目標達成に向けて取り組む事ができるよう、改善に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け評価表を基に、評価内容を各職員に周知し、より良い支援・サービス提供に向け尽力している。	今後とも保護者様のご意見を基に、より良い支援の提供を心がけ、納得いただける支援内容の維持・改善に努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月々の会議に加えて個別面談でも職員の意見を把握する機会を設け、業務改善に繋げている。	今後とも各職員の意見を尊重し、業務改善に尽力して参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	第三者による外部評価は現在行われていないが、相談支援員や学校関係者等は適宜業務の見学にお越しいただいている。	自己評価に加え、第三者視点から当施設の客観的なご意見を把握し、サービスの質を高められるよう業務改善に努めて参ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	入社時には職員研修を実施しているのに加え、随時内部研修や外部研修を実施し、研修機会の確保に努めている。	今後とも内部・外部研修を積極的に実施していき、各職員が益々成長できる事業所となるように努めて参ります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムについてはホームページにて公表している。事業所の提供する支援についてはプログラムに基づいて行っている。	ホームページにて支援プログラムを公表しております。プログラムに基づいた支援を提供していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	個別支援計画を作成する前に必ずアセスメントを行いお子さんや保護者の方のニーズを基に計画書を作成している。	今後とも各ご家庭の困り事に寄り添い、職員一同連携して支援を行い、質の高い計画を作成していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	計画作成の際は児童発達支援管理責任者だけでなく全職員で各お子さんの支援について検討し、作成をしている。	支援計画作成の際は全職員でお子さんの様子等について検討しながら共通理解の下で必要な支援内容を考えていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者の意見だけでなく、指導員全体で意見交換し、計画作成を行っている。支援の際は目標を全指導員で共有して行っている。	個別支援の中で日々のお子さんの様子を共有・把握しながらより良い支援が提供できるよう努めて参ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメントシートを用いてお子さんの状況を記録している。また、日々の支援においてはお子さんの活動記録を各指導員が用紙に記入し、全職員で確認・共有している。	アセスメントシートや日々の記録を正確に行い、職員間での共有を徹底しつつ各お子さんの状況把握に努めて参ります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個別支援計画の中に「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を設定している。各お子さんの状況に合わせて具体的な支援内容を設定している。	各お子さんとご家庭の状況を分析し、共有を行いながらその時に必要な支援について具体的に設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	児童との関りは個別支援という対応になるが、会議等で職員同士で意見交換を行いながら日々の活動プログラムを考えている。	職員同士で日々コミュニケーションや連携をとり、数多くのアイデアが出るようチームワークを図りながら活動プログラムを考えて参ります。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	日々のお子さんの様子から指導員同士で意見交換を行い、お子さんにとって負担にならない範囲で活動を変化させながら支援している。	今後もお子さんや保護者の方の意見を聞きながらプログラムの構成・調節を行い、日々の状況に合わせた活動を実施して参ります。また、活動プログラムがより保護者の方に伝わるように工夫して参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	日々の様子を整理し、児童発達支援管理責任者の意見だけでなく、指導員全体で意見交換し、計画作成を行っている。指導の際は目標を全指導員で共有して行うように努めている。個別支援を主にしている為、集団活動は行っていない。	各お子さんの状況を見極め、個別支援を中心に児童発達支援又は放課後等デイサービスの計画を作成して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼を行い、職員間で本日の流れやお子さんの対応における留意点を確認している。お子さん対応以外の業務に関してもその日の役割分担を全員で確認している。	今後も朝礼時を中心に日頃のコミュニケーションにおいても職員同士での意見共有を活発に行い、支援にずれが生じないよう防止、改善、向上に活かして参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了後に各職員からその日の振り返りを聞き、必要なことは全体で共有している。	今後も口頭・書面での情報共有を行い、更に改善できるよう努めて参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	利用ごとに支援報告書の作成を行い、お子さん個人ごとの保存を徹底している。責任者への報告としても、支援報告書を活用しながら支援内容を検証している。	今後も支援報告書を用いて正確な記録作成を行い、問題発生時の検証・改善に活用して参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年ごとに保護者の方とお話し、相談支援員の方の意見を聞きながら見直しを実施している。	今後も定期的にモニタリングを実施し、各お子さんに寄り添った、最適な個別支援計画書作成に努めて参ります。
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	現時点で障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には出席できていない。お子さんごとにモニタリングと、書面での情報共有を行っている。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0	（未回答5）現在、医療的ケアが必要なお子さまや、重症心身障害のあるお子さまのご利用はありません。適宜、相談支援員さんと連携を図り支援体制を整えています	今後、医療的ケアが必要な方や重症心身障害のある方がご利用される場合、一層、関係機関と連携し、適切な支援を行えるよう配慮して参ります。
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	現状保育所や幼稚園、小学校等と支援内容において十分な情報共有ができていないが、保護者の方を通じて保育所等の情報はお聞きしている。	保護者の方のニーズに沿って柔軟に情報共有が行えるよう努めて参ります。
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	現状保育所や幼稚園、小学校等と支援内容において十分な情報共有ができていないが、保護者の方を通じて保育所等の情報はお聞きしている。	保護者の方のニーズに沿って柔軟に情報共有が行えるよう努めて参ります。
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	専門機関との連携は現在十分に行えていないが、外部の研修について、各自受講している。	今後もより良いサービスをご提供するため、専門機関との連携や研修の受講を進めて参ります。
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	現在は保育所、放課後児童クラブ等で障害のないお子さんと活動する機会の提供を行っていない。	今後保護者の方から新たにニーズが聞かれましたら、機会を提供して参ります。
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	大まかな支援方針、利用者負担等ご契約時に責任者より説明を実施しており、支援内容に変更がある際には随時情報共有や説明を実施している。	今後もすべてのご利用者様のご意向に共感と寄り添いの姿勢を持ち、丁寧な説明を心がけていきます。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	具体的にプログラムを組んだペアレント・トレーニング等の支援は行っていない。	現状ご利用いただいている保護者様同士の交流の場はございませんが、今後は必要に応じてきょうだい同士の交流支援と共にサービス向上を目指して参ります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	大まかな支援方針、利用者負担等のご契約時に責任者より説明を実施しており、支援内容に変更がある際には随時情報共有や説明を実施している。	今後もすべてのご利用者様のご意向に共感と寄り添いの姿勢を持ち、丁寧な説明を心がけていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画の見直し、作成の際には必ず保護者とお子さんの意向を確認する時間を設けている。また、状況に応じて随時保護者とお子さんの意向を確認しながら支援計画の変更を行っている。	今後もご利用いただくお子様や保護者様の意向を尊重し、より良い支援を行って参ります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	年に2回、お電話か面談の機会を設け、児童発達支援計画もしくは放課後等デイサービス計画の支援内容を保護者に説明する機会を設けている。	今後も安心感をもって利用してもらえるように支援内容について丁寧に説明して参ります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	お子さん一人ひとりの状況に合わせ、面談もしくはお電話など、様々なご相談を受ける時間を設けている。	今後も保護者の皆様に寄り添い、適切な対応を取っていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	父母の会や保護者同士の連携に関して支援は行っていない。きょうだい同士の関りについては必要に応じて適切な支援を実施している。	保護者の皆様のニーズに合わせて柔軟に対応して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	ご利用に関して苦情をいただいた際には迅速にレスポンスを行い、可能な限り改善に努めている。	今後もお子様・保護者様に安心してご利用いただける施設であり続けられるようにご意見を尊重し、より良いサービス提供に尽力して参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	定期的な会報等の発行は行っていないが、ホームページ上で情報を発信している。	現在は施設からご家庭への情報発信がホームページのみとなっておりますが、今後はより親しみやすい施設になるよう、情報発信の仕方を考えて参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	各職員に守秘義務を遵守するように指導を行っている。また、個人情報は破棄、外部に持ち出さない事を今後も徹底して指導している。	今後も個人情報外部に漏れることがないように、最大限配慮しながら現在行っている対策を徹底して参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	日々の紙媒体での報告に加え、必要に応じてお電話でのやり取りや、面談を行い、情報伝達のための配慮を行っている。	今後もすべてのご利用者様に寄り添った情報伝達を行うよう尽力して参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	地域住民の方や、他の事業所との交流活動は行っていない。	保護者の方のニーズに合わせて他事業所や地域住民との交流活動を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルを作成し、職員への周知を行っている。保護者への周知については保護者様からの要望がない為周知できていない。	今後も職員間でマニュアルの周知徹底を行い、保護者の方にもご要望に応じて周知をしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画（BCP）は策定している。定期的に職員間で避難訓練を行っており、災害時に速やかに対応ができるようにしている。	今後も定期的に避難訓練を実施し、災害時に迅速かつ適切に対応できるように致します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	入会前やモニタリングの際に服薬や持病等については確認している。	今後も入会前、モニタリング時等定期的にお子さんの服薬や持病等の様子について保護者の方に確認を行って参ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	飲食物は提供していない。ご利用される方には飲み物を持参するようお願いをしている。	長事を提供することはありませんが、各お子さんのアレルギーについて把握し、食べ物を提供する場合には適切な対応を行って参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、定期的に行われる避難訓練で利用されるお子さんの安全管理について確認している。	今後も定期的な避難訓練の実施は継続し、その際にお子さんの安全管理について職員間で確認を徹底し支援を実施して参ります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	災害時の避難等、必要な情報は保護者の方にも共有し、対応を行っている。	災害時の避難場所や連絡手段等について各ご家庭に周知をしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	会議時にヒヤリハットの事例について事業所内で共有している。再発防止策についても職員間で検討し、共有している。	定期的集計を行い、検討の場を設けて、各ヒヤリハット事案に対応していきます。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	監視カメラを設置し、虐待を未然に防ぐことができるよう対応している。社内にて虐待防止に向けての勉強会を実施している。また、虐待防止委員会を設置し、虐待になりうる可能性のある事案について検討した。	引き続き、虐待防止委員会にて研修を行い、職員全員が虐待に対する正しい知識と対処法を身に付けていけるよう努めて参ります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	自傷・他害行為により、命の危険性、他人を傷つけてしまう恐れがあると判断した場合は、身体拘束を行う場合がある。原則として、自傷・他害行為があるお子様に対しては程度を確認しながら受け入れをご相談させて頂いている。	自傷・他害行為のある子どもへの支援の仕方や関わり方についての知識を深め、身体拘束を行う場合は保護者様への説明を必ず行い、不要な拘束行為はしないように徹底します。